

一般社団法人日本顎関節学会 2019 年度事業報告書

I. 目的（定款第3条）

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎関節学に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的として、次の事業を行った。

- (1) 学術大会の開催に関する事業
- (2) 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催
- (3) 機関誌、及びその他の出版物の刊行
- (4) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業
- (5) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する研修機関等および研修制度の整備
- (6) 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
- (7) 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究
- (8) 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流
- (9) 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業
- (10) 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰
- (11) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

II. 学術大会の開催に関する事業（定款第3条1項）

1. 第32回学術大会

- 1) 会期：2019年7月27日（土）～28日（日）
- 2) 会場：学術総合センター（一橋講堂）
- 3) 大会長：近藤 壽郎（日本大学松戸歯学部顎顔面外科学講座）
- 4) 共催：第6回アジア顎関節学会
（大会長 村上 賢一郎（赤穂市民病院歯科口腔外科））
- 5) 参加者：総計 958名
 1. 事前参加登録者 345名
 2. 当日参加登録者 463名（含海外4名）
 3. 招待・企業・その他 150名
- 6) 演題：
 - ①企画演題
海外招請講演2題（顎関節1、アジア顎関節1）
シンポジウム6題（合同1、顎関節5、アジア顎関節1）
教育講演2題（顎関節2）
イブニングセミナー4題（顎関節4題）
学術奨励賞受賞講演1題（顎関節学会）
ハンズオンセミナー全2部（第1部・第2部）44名受講
 - ②一般演題
口演（1題発表7分、質疑応答3分）33題（顎関節33題）
口演（1題発表10分、質疑応答2分）12題（アジア顎関節12題）
ポスター（自由討論）64題（顎関節42題、アジア顎関節22題）
 - ③企業協賛
ランチョンセミナー5演題（顎関節5題）

●特別講演

座長：近藤壽郎（日本大学松戸歯学部顎顔面外科学講座）

村上賢一郎（赤穂市民病院歯科口腔外科）

「45 years of TMJ Surgery 1976-2019—Current philosophy and observations—」

M. Franklin Dolwick

●メインシンポジウム

「顎関節症専門医が目指す未来」

座長：近藤壽郎（日本大学松戸歯学部顎顔面外科学講座）

鱒見進一（九州歯科大学口腔機能学講座顎口腔欠損再構築学分野）

1. 歯科保健医療を取り巻く状況 小嶺祐子
2. 歯科医療における専門医の必要性を多面的に語る 住友雅人
3. 顎関節症専門医制度の回顧と前進 高木律男

●DC/TMD Symposium

DC-TMD : Update and Prospective in Asian Region

Koichi Wajima

Hirofumi Yatani

Keynote speech :

DC/TMD as standardized diagnostic criteria for the most common temporomandibular disorders (TMD) Yoshihiro Tsukiyama

1. Clinical utility and implementation of RDC and DC/TMD for diagnosis and management of orofacial pain in Korea Jin Woo Chung
2. DC/TMD and TMD classification in China Xing Long
3. TMD diagnostic protocol in the Philippines Sheila Ortega-Cobcobo
4. Indonesian DC/TMD : Its development and its use in Indonesian epidemiology studies Carolina Damayanti Marpaung

●シンポジウム 1

「顎関節領域の基礎研究」

座長：依田哲也、小倉直美

1. 培養ヒト顎関節滑膜細胞を用いた顎関節炎症病態関連因子の検討 小倉直美
2. TGF- β /Smad3 シグナルを介した TMJ-OA の分子病態解明 井澤俊
3. 機械的刺激による軟骨破壊のメカニクス—顎関節症治療薬候補物質の探索— 廣瀬尚人
4. 咀嚼筋口・口膜過形成症の病態解明とトランスレーショナルリサーチへの展望 佐藤毅

●シンポジウム 2

「超高齢化社会の顎関節脱臼を考える」

座長：栗田賢一、川上哲司

1. 高齢者における顎関節脱臼発症頻度調査 松香芳三
2. 高齢者における顎関節脱臼の発生に関わる神経学的病態 形岡博史
3. 神経学的異常による顎関節脱臼への対処—現状と展望— 川上哲司

●シンポジウム 3

「開業医のための顎関節症治療—アップデート講座—」

座長：和気裕之、塚原宏泰

1. 鑑別診断からみた顎関節症 佐藤文明
2. 医療面接から考える病態診断と2軸診断 渋谷寿久
3. 病態別の基本的な治療法 依田哲也
4. 開業医のための治療の勘所 塚原宏泰
5. 難症例への対応と病診連携 島田淳
6. エンドポイントの考え方 久保田英朗

●日本顎関節学会・日本口腔顔面痛学会共催シンポジウム

「顎関節領域に生じた慢性口痛をどう鑑別するか？」

座長：小見山道、村岡渡

1. 顎関節症の痛みの慢性化—中枢性感作を生じたら？— 佐藤仁
2. 顎関節領域に生じる三叉神経ニューロパチー
—びりびりとした発作痛や持続痛をどうするか— 野間昇
3. 顎関節症と鑑別が必要な頭痛—下顔面に痛みを生じる頭痛— 大久保昌和
4. 顎顔面部に慢性痛を呈する心理社会的因子
～顎関節症の痛みは顎関節の疾患か？～ 坂本英治

●教育講演 1

「保存療法のこれまでとこれから」

座長：山口泰彦

1. これまでの保存療法—とくにアプライアンス療法について— 鱒見進一
2. これからの保存療法の展望 佐々木啓一

●教育講演 2

座長：本田和也（日本大学歯学部歯科放射線学講座）

「顎関節画像診断のこれまでとこれから」 小林馨

●教育セミナー1

「臨床研究の統計学入門」

座長：窪木拓男

「臨床研究を始める際に知っておくべき原則—統計など—」 杉崎正志

●教育セミナー2

座長：有地榮一郎（愛知学院大学歯学部歯科放射線学講座）

「口腔健康管理に向けてのオーラルフレイルについて」 高野直久

●ハンズオンセミナー

座長：小見山道（

「DC/TMD の診断法—筋圧痛検査と関節痛誘発試験—」

インストラクター：

松香芳三、小見山道、原節宏、前川賢治、有馬太郎、石垣尚一、大久保昌和、村岡渡、
鳥巢哲朗、西山暁、飯田崇、佐藤仁

協賛：サンスター株式会社

●ランチョンセミナー1

「顎関節外科—hereafter—」

座長：高橋哲

1. 解剖学的 3D プレート Subcondylar プレートシステムを使用した内視鏡支援下関節突起骨折観
血的整復固定術 竹信俊彦
 2. 顎関節外科の再考—顎変形症の顎関節症併発症例の治療戦略— 亀井和利
- 協賛：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

●ランチョンセミナー2

「7 つの自由度を持つ次世代 CBCT (Veraview X800)

—広範囲低被曝撮影と小照射野高解像力への挑戦—」 新井嘉則

協賛：株式会社モリタ

●ランチョンセミナー3

座長：松香芳三

「顎関節症治療の指針 2018 と Butler GrindCare®及び Butler Palpeter®の臨床への応用について」小見山道

協賛：サンスター株式会社

●ランチョンセミナー4

「KaVo 3D eXam+による日常歯科臨床の安全、正確な歯科用 CT 検査と臨床応用」 金田隆
協賛：カボデンタルシステムズ株式会社

●ランチョンセミナー5

座長：田中栄二

「D-Function（歯科用両側性筋電気刺激装置）を利用した咀嚼筋痛
協賛：伊藤超短波株式会社

●イブニングセミナー

「矯正歯科治療における下顎頭吸収を考える」

座長：山田一尋（松本歯科大学病院育成期口腔診療部門）

田中栄二（徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面矯正学分野）

1. 矯正歯科臨床における下顎頭吸収の特徴 山田一尋
2. 矯正歯科臨床における下顎頭吸収の診断と治療方針立案 田中栄二
3. 下顎頭吸収を有する不正咬合症例に対する歯科矯正学的対応 谷本幸太郎
4. 下顎頭吸収における性ホルモンとメカニカルストレスの相互作用を検討する 石井武展

●Japan/Asian Joint Seminar

Reconstructive TMJ Surgery ; Recursion and Progression. Autogeneous and/or Alloplastic
Moderators : Kenichi Kurita, Tetsuya Yoda

1. Conventional temporomandibular joint reconstruction : indications and limitations
Tetsu Takahashi
2. Indications and know-how of effective alloplastic total temporomandibular joint
replacement Bu-Kyu Lee
3. Modified surgical techniques for Stock type TMJ-TJR and outcome Shanyong Zhang

●Guest Lecture

Chairpersons : KenIchiro Murakami、Ritsuo Takagi

「Arthrocentesis, a 30 years review : Rationale, and Prospective」

Dorrit W Nitzan

●平成 30 年度覚道健治賞（学術奨励賞最優秀賞）受賞講演

座長：佐々木啓一

「顎関節症長期病悩患者におけるエゴグラムチェックリストを活用した自我状態の検討」
高嶋真樹子

Ⅲ. 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催（定款第3条2項）

1. 第48回学術講演会

開催日：2019年10月6日（日）

会場：鶴見大学会館メインホール

講師、講演内容：

【下顎位と咬合を変化させる顎関節の病態とその対応】

パート1：顎関節に関連する病態と下顎位、咬合の関係

講師：小見山 道

パート2：下顎位を変化させる顎関節の病態の画像診断

講師：五十嵐千浪

パート3：下顎位と咬合が変化する顎関節の病態への補綴歯科的対応

講師：山口泰彦

パート4：顎関節に関連する病態で下顎位が変化した場合の口腔外科的対応

講師：川上哲司

パート5：下顎頭の吸収で下顎位が変化した場合の口腔外科的対応

講師：高橋 哲

参加者数：110名（会員100名、非会員7名、研修医3名）

2. 第49回学術講演会

開催日：2020年2月23日（日）

会場：日本大学1号館 大講堂

講師、講演内容：

顎関節症の鑑別診断コース ―それ本当に顎関節症ですか？―

（各種鑑別を要する疾患についての詳細解説）

パート1：顎関節症の病態分類と診断基準（2019）

講師：小見山 道

パート2：画像検査による顎関節症の鑑別

講師：五十嵐千浪

パート3：顎関節症と鑑別が必要な疾患①（有痛疾患）

講師：村岡 渡

パート4：顎関節症と鑑別が必要な疾患②（口腔外科疾患）

講師：岡本俊宏

パート5：顎関節症と鑑別が必要な疾患③（精神疾患）

講師：小見山 道

参加者数：77名（会員64名、非会員7名、研修医3名、暫定指導医3名）

Ⅳ. 機関誌、及びその他の出版物の刊行（定款第3条3項）

●日本顎関節学会雑誌：4回発行（うち1回は大会抄録集）

第31巻特別号（2019年6月発行）

第31巻2号（2019年9月発行）

第31巻3号（2020年1月発行）

第32巻1号（2020年4月発行）

※第31巻3号以降は冊子体による発行を廃止し、電子化とした。

（ただし大会号のみ、今後も冊子体で発行する。）

V. 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業 (定款第3条4項)

【新規認定】

<専門医および指導医>

2019年指導医、専門医試験を実施。

2019年11月9日(日) 東京駅八重洲倶楽部第1会議室

11:00~12:00=記述試験、13:20~14:30=口頭試問

指導医1名、専門医4名を新たに認定。

<新認定医>

●ポスタープレゼンテーション審査

実施日:2019年7月27日(土) 会場:学術総合センター2階の203会議室

受審者9名中7名を合格、2名を条件付合格と判定した。

●講習会・筆記試験を2020年2月24日(月・祝)に実施。

会場:日本大学歯学部1号館・大講堂

講習会内容

顎関節の臨床解剖(解剖・口腔外科)

顎関節の画像診断(歯科放射線科)

DC/TMDに準拠した顎関節症の診察(補綴)

初期診療ガイドライン(補綴:スプリント療法、開口練習)

新認定医制度、専門医制度について(既資格取得者はここまでです。)

筆記試験

受験者22名中20名を合格、1名を条件付合格と判定。

(ポスタープレゼンテーション審査に申請・合格すれば、本資格取得となる。)

<研修機関>

新規に研修施設1施設。研修補助施設1施設を承認。

【更新認定】

2019年12月31日が認定期限となる方々の資格更新審査を実施。

<対象者および結果>

●30名中(昨年保留15名含む)28名が更新。2名(佐野司、坪井明人)が辞退。

更新申請28名中27名の更新を委員会としては承認。

1名は更新条件不備のため未承認。(次年度に再度申請)

●指導医:3名中3名が更新。

●専門医:27名中23名更新。2名が保留申請。2名が更新辞退。

●研修施設:17施設中10施設が更新。7施設が保留。

●関連研修施設:3施設中3施設が更新。

VII. 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業

(定款第3条6項)

VIII. 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究(定款第3条7項)

IX. 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流(定款第3条8項)

●第32回学術大会をアジア顎関節学会(第6回)と共催。

X. 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業(定款第3条9項)

●学術大会の運営

XI. 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰（定款第3条10項）

- 令和1年度学会賞特別賞

柴田考典

- 令和1年度覚道健治賞（最優秀学術奨励賞）

受賞候補者名：林 直樹（埼玉医科大学病院医学部口腔外科教室）

受賞論文名：若年者における咀嚼筋腱・腱膜過形成症疑い者に関する縦断的疫学調査
（日本顎関節学会雑誌 30 巻 2 号掲載。）

- 令和1年度学術奨励賞（優秀賞）

受賞候補者名：鈴木英弘（新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学）

受賞論文名：学童期検診における開口量および開閉口時クリック音の縦断的調査
（日本顎関節学会雑誌 30 巻 1 号掲載。）

XII. その他本法人の目的を達成するために必要な事業（定款第3条11項）